



日本フィル & サントリーホール

にじくら

トークと笑顔と、音楽と

第6回

2025年1月29日(水)

Japan Philharmonic Orchestra and Suntory Hall
Weekday Matinee Concert Series No. 6

日本フィル・サントリーホール
にじくら
トークと笑顔と、音楽と

第6回

Japan Philharmonic Orchestra and Suntory Hall
Weekday Matinee Concert Series No. 6

指揮：園田隆一郎
Ryuichiro Sonoda, Conductor

ギター：村治佳織
Kaori Muraji, Guitar

ナビゲーター：高橋克典
Katsunori Takahashi, Navigator

日本フィルハーモニー交響楽団
Japan Philharmonic Orchestra

コンサートマスター：木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Masayuki Kino, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地知也 [日本フィル・ソロ・チェロ]
Tomoya Kikuchi, JPO Solo Violoncello

13:40～ オルガン・プレコンサート

J. S. バッハ (グノー 編曲)：『アヴェ・マリア』
Johann Sebastian Bach (arr. Charles-François Gounod): *Ave Maria*

ビゼー：オペラ『カルメン』第1幕への前奏曲
Georges Bizet: *Carmen*, Prelude to Act 1

サン＝サーンス：前奏曲とフーガ 変ホ長調 作品99-3 より 前奏曲
Camille Saint-Saëns: Prelude from Prelude and Fugue in E-flat Major, Op. 99, No. 3

オルガン：勝山雅世
Masayo Katsuyama, Organ

ロドリゴ：
『アランフェス協奏曲』
Joaquín Rodrigo: *Concierto de Aranjuez*

I. Allegro con spirito
II. Adagio
III. Allegro gentile

ギター：村治佳織 Kaori Muraji, Guitar

————— 休憩 Intermission —————

サン＝サーンス：
交響曲第3番 ハ短調 作品78「オルガン付き」
Camille Saint-Saëns: Symphony No. 3 in C Minor, Op. 78, “Organ”

I. Adagio—Allegro moderato—Poco adagio
II. Allegro moderato—Presto—Maestoso—Allegro

オルガン：勝山雅世 Masayo Katsuyama, Organ

日時：2025年1月29日(水) 14:00開演 Wednesday, January 29, 2025 at 14:00
会場：サントリーホール 大ホール Suntory Hall, Main Hall
主催：日本フィルハーモニー交響楽団／サントリーホール

■WEBアンケート

ご来場いただきありがとうございます。
皆様のお声を今後の公演に活かしたく、アンケートにご協力をお願い申し上げます。





© Fabio Paresan

指揮：園田隆一郎

Ryuichiro Sonoda, Conductor

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』のほか、フィレンツェのトスカ・管弦楽団との演奏会、カタールニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。遠藤雅古、佐藤功太郎、ジェイムズ・ロックハート、ジャンルイジ・ジェルメッティ、アルベルト・ゼッダに師事。05年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、17年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。



© Kaori Kuchi

ギター：村治佳織

Kaori Muraji, Guitar

幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、ビクターより15歳でCDデビューを飾る。1996年には、イタリア国立放送交響楽団との共演がヨーロッパ全土に放送され好評を得た。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。N響ほか国内主要オーケストラおよび欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国名門DECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。受賞歴も多く、第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオークラ音楽賞、ベストドレッサー賞(学術・文化部門)、ブルガリアウローラアワード2019を受賞。サントリーホールでのソロリサイタル、メディア出演、映画のエンディング作曲や演奏など多彩に活躍。18年9月にリリースした『シネマ』は、2度目の日本ゴールドディスク大賞を受賞。23年10月、30周年記念ベストアルバム『CANON～オールタイム・ベスト』をリリース。



オルガン：勝山雅世

Masayo Katsuyama, Organ

東京藝術大学器楽科オルガン専攻卒業。卒業時、アカンサス音楽賞受賞。同大学院修了。パーゼル・スコラ・カントルムに留学。2003年オランダのアルクマール・シュニットガー国際オルガン・コンクール第3位入賞。サントリーホール主催「それいけ!オルガン探検隊」をはじめ、子どものための音楽会に力を注いでおり、小学館『図鑑NEO』の演奏協力(サントリーホール収録)や、各地のホールや教会で、企画から演奏まで幅広く活動している。



ナビゲーター：高橋克典

Katsunori Takahashi, Navigator

神奈川県横浜市生まれ。1993年『抱きしめたい』で歌手デビュー。俳優として「サラリーマン金太郎」「特命係長 只野仁」などのヒット作を得る。近年では2020年大河ドラマ「麒麟がくる」、22年秋NHK朝ドラ「舞いあがれ」、24年10月NHK「未来の私にブッカマされる!?!」に出演。24年6月NHK BS時代劇「大岡越前7」では主演を務める。出演映画22年5月『20歳のソウル』、22年8月『バイオレンスアクション』、24年2月『劇場版マダー★ミステリー 探偵・班目瑞男の事件簿 鬼灯村伝説 呪いの血』、24年7月『乱歩の幻影』が公開。BSテレビ東京「ワタシが日本に住む理由」レギュラー出演、bayfm78「GROOVIN' ON THE ROAD」ではメインパーソナリティとしてレギュラー出演中。



© Koji Iida

日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立。「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ(地域活動)」という三つの柱に加え、

2011年の東日本大震災以来「被災地に音楽を」届ける活動を継続している。これらの活動は高い評価を受け、第16回後藤新平賞を受賞。23年9月より首席指揮者にカーチン・ウォンを迎え、桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行う。26年の70周年に向け、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。1994年に杉並区と友好提携を結び、本拠地とする。毎週水曜日22時54分～23時、BS朝日「Welcomeクラシック」出演中。

公式ホームページ japanphil.or.jp 公式X(Twitter) @Japanphil

■ ロドリーゴ:『アランフェス協奏曲』

20世紀スペインを代表する作曲家ホアキン・ロドリーゴ(1901~99)は、3歳で視力を失ったが、早くから優れた音楽の才能を発揮した。パリに渡ってエコールノルマル音楽院でポール・デュカス(1865~1935)に師事し、マヌエル・デ・ファリャ(1876~1946)からも大きな影響を受けた。1936年から約3年に及ぶスペイン市民戦争の間はパリとドイツに住み、39年に帰国した後、マドリードを拠点に音楽活動を展開した。

『アランフェス協奏曲』は、スペイン内戦中に着手され40年に発表されると、ロドリーゴの名を世界に知らしめた。当時、ギター独奏による協奏曲は珍しく、ギターの細やかで控えめな音を管弦楽と巧みに調和させたことで、このジャンルの開拓に大いに貢献した。作曲に際して、スペインの名ギター奏者、レヒーノ・サインス・デ・ラ・マーサ(1896~1981)の助言を得ており、初演も彼が独奏を担い大成功を収めた。

曲名の「アランフェス」とは、マドリード近郊にあるスペイン王家の夏の離宮の名所で、美しい庭園で知られる。失明したロドリーゴが、アランフェスの緑豊かな風景を直接目にするにはできなかったが、内戦中である祖国の平和を願い、本作品に「貴族的なものと民衆的なものが融合していた18世紀スペイン宮廷の姿を描き出した」と述べている。

第1楽章はソナタ形式。楽章全体を支配する軽やかで活気あふれるスペイン風のリズムに乗って、草花の香り、鳥のさえずり、噴水の湧き出る音などアランフェスの美しい自然が表現される。第2楽章は、哀愁漂う緩徐楽章。イングリッシュ・ホルンが歌い上げるあまりに有名な哀歌は、否応なく心に響く。様々なジャンルや楽器による編曲も多い。後半のギターによるカデンツァもまた聴きどころで、胸を打たれる。ロンド形式の第3楽章では、2拍子と3拍子が絶え間なく移り変わり、最後まで緊張感をもたらす。ギターと管弦楽の掛け合いが心地よく、華やかに曲を閉じる。

■ サン＝サーンス:交響曲第3番 ハ短調 作品78「オルガン付き」

カミーユ・サン＝サーンス(1835~1921)は、19世紀後半のフランス音楽界をリードし、各ジャンルに多くの作品を残した。本作は、円熟期に手掛けられたフランスを代表する交響曲の傑作である。ロンドンのフィルハーモニー協会の委嘱作品として1886年に完成、作曲者自身の指揮により初演され大成功を収めた。1830年に発表されたエクトール・ベルリオーズ(1803~69)の『幻想交響曲』以降、フランスではなかなか交響曲作家が現れなかったが、半世紀を経て生まれた本作を皮切りに、セザール・フランク(1822~90)やエルネスト・ショーン(1855~99)らが交響曲を手掛け、フランスにおいて器楽曲全般に活気がみなぎるようになった。

本作の特徴の一つは、副題の通り、交響曲にオルガンを用いたことである。サン＝サーンスがオルガンとピアノの名演奏家として活躍し、当時パリで最高峰のマドレーヌ教会のオルガニストを20年間務めたことや、初演を行なったフィルハーモニー協会のホールにオルガンが備え付けられていたことなどから着想を得たとされる。また、各楽章が2部に分かれた2楽章構成という型破りな形と、一定の主題が全ての楽章に現れて楽曲全体に統一感をもたらす「循環形式」の手法を駆使している点も特徴的である。完成後、「私が注ぎ込める全てを注ぎ込んだ。これほどの達成感はどう得られない」と述べ、本作は彼の最後の交響曲となった。

第1楽章前半部は、静かな序奏とソナタ形式からなる。弦楽器で小刻みに提示される第1主題こそ、全曲に登場する循環主題である。緩徐楽章にあたる後半部では、オルガンの穏やかな響きに導かれ瞑想的で神秘的な主題が奏される。第2楽章前半部はスケルツォ部分。劇的な主題に始まり、循環主題も見え隠れする。プレストでは木管楽器とピアノが軽やかに動き回る。後半部はオルガンの荘厳な和音で幕を開け、循環主題を複雑で華やかに発展させていきながら、壮大なクライマックスを迎える。

(ちゅんりよ・音楽学)

有料オンライン配信のお知らせ

本日のコンサートのライブ配信映像を、リピート配信でご覧いただけます。
お好きな時間と場所で何度でもお楽しみください。

視聴券 ¥2,200

視聴期間 2025年1月30日(木)14時~2月4日(火)23時

※デジタルサントリーホール(サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB/チケットびあ)、イープラスでの取り扱い



デジタルサントリーホール配信公演ページの「WATCH」ボタンより、視聴券購入画面にお進みいただけます。

チケット優待サービス

ご利用当日のサントリーホールのチケット(半券)をアークヒルズのサービス加盟店舗でお見せいただくと、割引や限定メニューなどおトクな優待をご利用いただけます。



来シーズンのお知らせ 本日会場にて、3公演セット券、および第7回の1回券をお買い求めいただけます!

平日2時のクラシックコンサート 日本フィルサントリーホール にじくら トークと笑顔と、音楽と	第7回 指揮: 広上淳一 ピアノ: 小山実稚恵	2025年4月15日(火) ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番 ~映画音楽名曲集~ ロータ映画「ゴッドファーザー」より「愛のテーマ」 J.ウィリアムズ映画「ジュラシックパーク」よりほか	3公演セット券 好評発売中! S席 ¥15,900 A席 ¥10,500 1回券で買うよりお得! 詳しくはHPをご覧ください▼
来シーズンも 俳優の高橋克典が ご案内します	第8回 指揮: 川瀬賢太郎 チェロ: 上野通明	2025年9月17日(水) J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番より プレリュード フレスコバルディ(カサド/小林幸太郎 編曲): トッカータ ブルッフ: 「ホル・ニドライ」 ドヴォルジャーク: 交響曲第9番「新世界より」	2026年1月21日(水) サラサーテ: カルメン幻想曲 ラヴェル: 演奏会用狂詩曲「ツィガヌ」 ビゼー: 組曲「カルメン」より 語り: 高橋克典
	第9回 指揮: 坂入健司郎 ヴァイオリン: 高木濃々子		

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



創立指揮者 渡邊 暁雄



SUNTORY HALL